

短期金融市場に関する問題意識 ～レポ市場拡大のために～

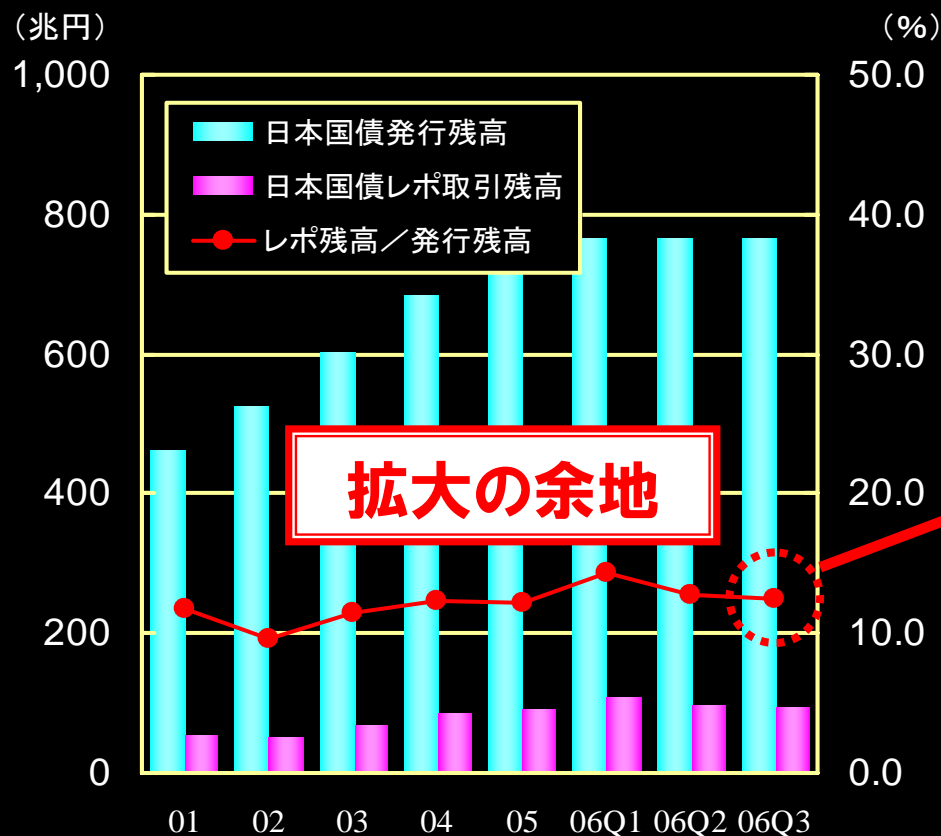
2007年3月1日

野村證券株式会社 執行役 金融市場本部担当
中村 善二

レポ市場の規模(日米比較)

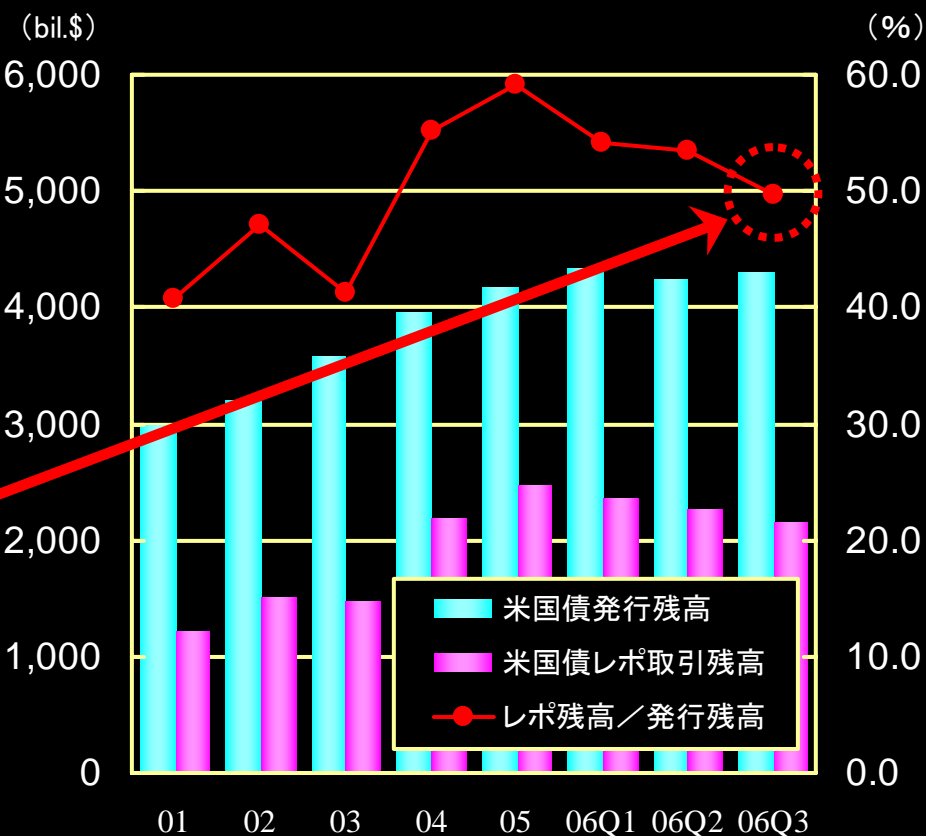
NOMURA

日本



(出所: 日本証券業協会)

米国



(出所: The Bureau of the Public Debt, FRBNY)

- ① 短期国債のレポ取引
- ② ターム物のレポ取引
- ③ 現先取引

短期国債のSCレポ取引が未発達な原因

- ✓ ショートしづらい
- ✓ 事務負担の抑制→オペへの依存→出し手の不在



歪んだ価格形成

SCレポ取引の拡大



流動性の向上・価格形成の効率化

ターム物GCレポ取引拡大のメリット

- ✓ 資金調達の効率化
- ✓ より有利な運用機会の追求
- ✓ 新たな参照金利の形成



裁定機会の増加

⇒ 新たな流動性やリスク・リターンの供給

現先取引の有利性

- ✓ 多様な取引手法
- ✓ リスク管理の充実
- ✓ グローバル・スタンダード
- ✓ 取引対象の拡大(一般債、ローン等)

最後に